

施工会社

透水性レジンモルタルシステム工法協議会会員
(アイウエオ順)

アナミ舗材株式会社
大林道路株式会社
鹿島道路株式会社
大成ロテック株式会社
株式会社辻広組
東亜道路工業株式会社
常盤工業株式会社
ニチレキ株式会社
日進化成株式会社
日本道路株式会社
株式会社NIPPO
美州興産株式会社
株式会社平野組
福田道路株式会社
前田道路株式会社
三井住建道路株式会社

材料会社

オサダ技研株式会社、中外商工株式会社

事務局

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町9-17
オサダ技研(株) 技術営業部内
TEL.06-6764-5724 FAX.06-6761-1517

<http://www.prms.gr.jp>



※カタログに記載の仕様、色については予告なしに変更、廃番になることがあります。

2024年9月作成

パームス® PRMS工法

透水性レジンモルタルシステム工法



PRMS工法



PRMS カラー工法

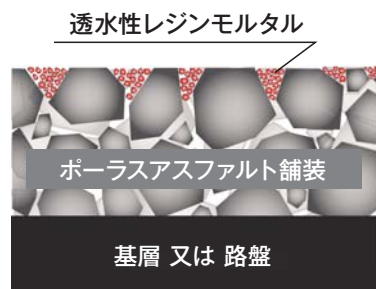


PRMS グリップ工法



PRMS 多機能工法

ポーラスアスファルト舗装の 耐久性向上・スリップ事故対策に！



PRMS工法は、ポーラスアスファルト舗装の表面の空隙部分（凹部）に、耐久性に優れたエポキシ樹脂と特殊粒径の細骨材とを混合した透水性レジンモルタルをすり込み充填する工法です。透水性レジンモルタルをポーラスアスファルト舗装の凹部にくさび状に充填することで、表層骨材の動きを抑制する効果があります。また、充填後の表面は平滑な面となりますので、未充填のポーラスアスファルト舗装に比べて騒音が低減し、すべり抵抗性が向上します。

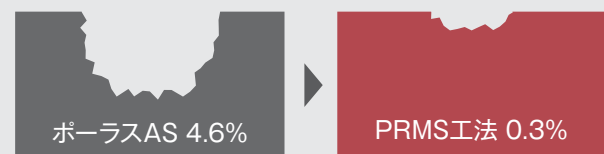
特長

路面の強化（骨材飛散抑制）

骨材やアスファルトとの接着性、耐水性に優れたエポキシ樹脂をバインダとして使用した透水性レジンモルタルをポーラスアスファルト舗装の表面に充填することにより、排水性、透水性を維持したまま路面の強化が可能です。



ねじり骨材飛散率が



騒音低減機能の向上

透水性（通気性）を維持したまま路面のキメが向上するため、ポーラスアスファルト舗装のさらなる騒音低減が可能です。

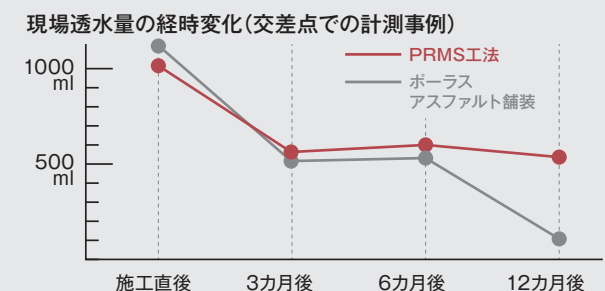
すべり抵抗の向上

細かな骨材からなるレジンモルタルを路面の空隙に充填するため、ポーラスアスファルト舗装に比べてタイヤの接地面積が増えすべり抵抗性が向上します。



空隙づまりの抑制

粒径を選定した骨材を使用するため、透水性レジンモルタルに適切な空隙が確保でき、土砂等による空隙づまりが抑制されます。



施工 手順

1 交通規制

2 透水性レジンモルタルの製造

3 透水性レジンモルタルのすり込み

4 転 圧

5 養 生

6 交通規制解除



2 透水性レジンモルタルの製造



3 透水性レジンモルタルのすり込み

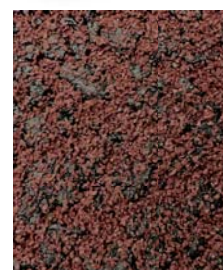


4 転圧

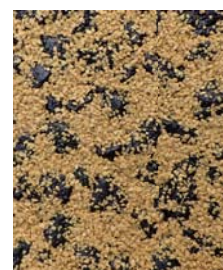
カラー

※写真は印刷物のため、実際の色とは多少異なります。ご了承ください。

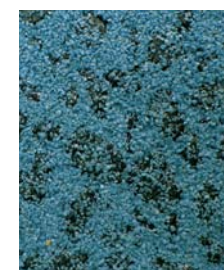
※施工後1〜3ヶ月は紫外線の影響により変色している様に見える場合があります（特に白色骨材）、これは外観上の問題であり、モルタルの強度に影響はありません。



茶



黄



青



緑



黒



白

補修材料としても最適！ 凹凸形状の場所も 平坦に補修

ポーラスアスファルト舗装の骨材飛散箇所に補修が可能です。骨材飛散を起こした凹凸形状の場所にも材料が充填出来尚且つ平坦に仕上げる事が可能です。また、橋梁のジョイント部の段差修正材としても使用可能です。



カラー舗装施工事例



補修前



補修後

小面積セット品

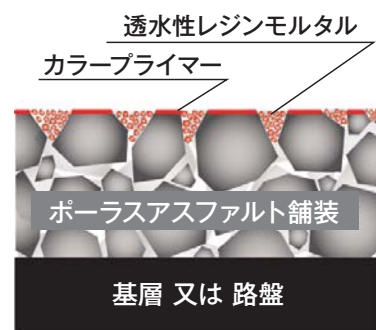


PRMS工法小面積用セット品は、PRMS工法に使用されているバインダ樹脂と骨材がキット化された製品です。

詳しくは↓



ポーラスアスファルト舗装の カラー化に！



PRMSカラー工法は、ポーラスアスファルト舗装に専用着色プライマーを塗布後、ポーラスアスファルト舗装の表面の空隙部分(凹部)に透水性レジンモルタルを充填する工法です。

これにより、ポーラスアスファルト舗装の透水性を確保したまま、注意喚起、車線誘導などの視認性向上が期待できます。また、歩道における透水性舗装のカラー化において、骨材の色調により車両通行が可能な自然石風の景観舗装を形成することも可能となります。

特長

景観性の向上

ポーラスアスファルト舗装表面骨材に着色し、カラーレジンモルタルを充填するため、通常のカラー舗装と比較し、塗料の塗布感がなく自然な色合いのカラー化が可能です。



安全性の向上

車道適用時においては、注意喚起、視線誘導などの用途に使用できます。塗布型カラー舗装材と比べるとPRMSカラー工法は細かな骨材がすべり止め効果を出すため、雨天時のスリップ事故対策にも効果が期待できます。



ポーラスアスファルト舗装の長寿命化

ポーラスアスファルト舗装表面骨材にプライマーが塗布され、なおかつ舗装空隙部にカラーレジンモルタルを充填するため、骨材飛散抑制と空隙つまり抑制の効果が期待できます。

試験項目	試験結果
はがれ面積率(%) (画像のピクセルにより算出)	18

※東京都、遮熱性舗装(車道)設計・施工要領(案)路面の遮熱材のはがれ抵抗性(はがれ面積率の測定)(1)ねじり法による測定

施工 手順

- 1 交通規制
- 2 カラープライマー塗布
- 3 透水性レジンモルタルの製造
- 4 透水性レジンモルタルのすり込み

- 5 転 圧
- 6 養 生
- 7 交通規制解除



YouTube

詳しい施工VTRはこちらからご覧いただけます。



2 カラープライマー塗布



3 透水性レジンモルタルのすり込み



4 転圧

カラー

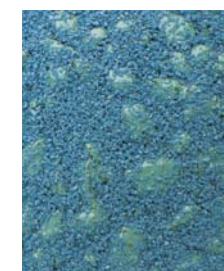
※写真は印刷物のため、実際の色とは多少異なります。ご了承ください。
※施工後は紫外線の影響により若干の変色があります。



茶



黄



青



緑



黄土

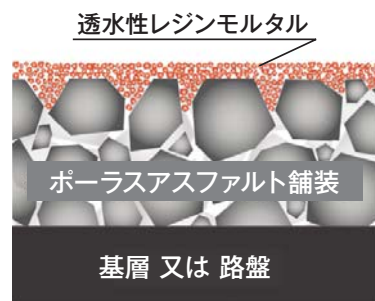


白黒

施工 事例



ポーラスアスファルト舗装の 交通安全対策に！



PRMSグリップ工法は、すべり抵抗が低下した既設ポーラスアスファルト舗装上に透水性レジンモルタルを薄層でかさ上げすることにより、すべり抵抗性能の向上を図る交通安全対策工法です。すべり抵抗を向上させたいポーラスアスファルト舗装に施工することにより、すべり抵抗が増し雨天時のスリップ事故削減が期待できます。また、注意喚起や行先案内などの路面表示材としても使用できます。段差が少なく、すべり難い路面標示材が形成できますので、騒音対策が必要な箇所、カーブ部で雨天時のスリップ対策が必要な箇所に有効です。さらに、PRMSグリップ工法は、ポーラスアスファルト舗装のみならず密粒度舗装、コンクリート舗装にも適用することが可能です。



特長

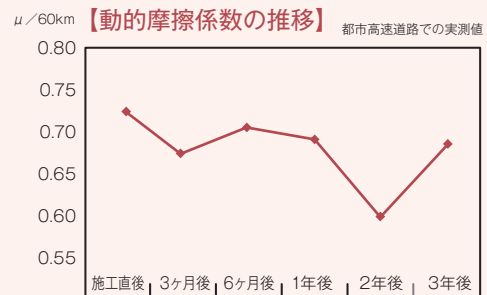
安全性の向上

細かな骨材からなるレジンモルタルが路面に敷設されるため、ポーラスアスファルト舗装に比べてタイヤの接地面積が増えすべり抵抗性が向上します。



既設路面への施工が可能

経年によりすべり抵抗性能が低下した既設ポーラスアスファルト舗装に、透水性を維持したまま施工し、すべり抵抗性能を回復させることが可能です。



カラー化が可能

骨材の色は、黒の他に標準色として茶、黄、青、白、緑があり注意喚起や行先案内などの路面標示や、景観を目的としたカラー化が可能です。

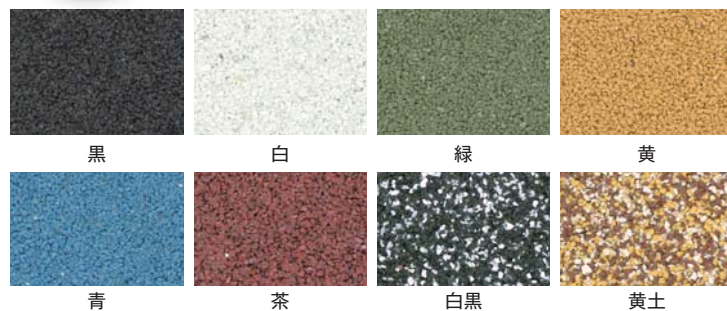


施工手順

- 1 交通規制
- 2 プライマ塗布
- 3 透水性レジンモルタルの製造
- 4 透水性レジンモルタルの敷設
- 5 転圧
- 6 養生
- 7 交通規制解除

カラー

※写真は印刷物のため、実際の色とは多少異なります。ご了承ください。
※施工後1～3ヶ月は紫外線の影響により変色している様に見える場合があります（特に白色骨材）、これは外観上の問題であり、モルタルの強度に影響はありません。



3 透水性レジンモルタルの製造

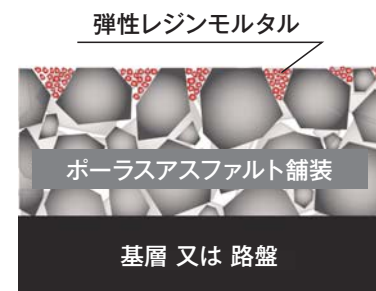


4 透水性レジンモルタルの敷設



5 転圧

ポーラスアスファルト舗装の 凍結抑制、騒音低減に！



PRMS多機能工法は、ポーラスアスファルト舗装の表面骨材間隙部分に、透水性の弾性レジンモルタルをすり込み充填する工法です。充填材として弾性のある特殊骨材（PRMS弾性骨材）と特殊ウレタン樹脂を使用することで、凍結抑制効果や騒音低減効果を有する舗装となります。



特長

凍結抑制効果

充填した弾性レジンモルタルが車両通過時にたわむことで、凍結抑制効果を発揮します。物理系の凍結抑制舗装に分類されます。



騒音低減効果

透水性（通気性）を維持したまま路面のキメが向上するとともに、弾性骨材がタイヤの接地衝撃を緩衝するため、ポーラスアスファルト舗装のさらなる騒音低減を付与します。



騒音データ

	ポーラスアスファルト舗装(13)	PRMS多機能工法
タイヤ近接騒音(dB)	90.3	87.0

※S027-1普通タイヤによるタイヤ/路面騒音測定方法に準拠

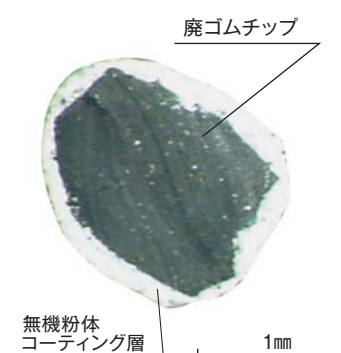
施工手順

- 1 交通規制
- 2 プライマ塗布
- 3 弾性レジンモルタルの製造
- 4 弾性レジンモルタルのすり込み
- 5 転圧
- 6 養生
- 7 交通規制解除

PRMS 弾性骨材について

PRMS弾性骨材は廃タイヤチップに無機粉体と樹脂で特殊コーティングした弾性骨材で、コーティングによりウレタン樹脂バインダとの接着性も良好となります。このことにより弾性レジンモルタル自体の耐久性が大幅に向上し、弾性骨材の離脱が起きにくくなりPRMS多機能工法の機能の持続が期待できます

■PRMS弾性骨材 断面図



2 プライマ塗布



4 弾性レジンモルタルのすり込み



5 転圧